

技術・家庭 (技術分野)

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書◆	技術 002-72	A B 298	令和 6 年
6	教育図書	教 図◆	技術 006-73・006-74	A 4 変形 304	
9	開隆堂出版	開隆堂◆	技術 009-72	A B 314	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
4冊	東書、教図、開隆堂

2 学習指導要領における教科・分野の目標等

【技術・家庭科の目標】

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

【技術分野の目標】

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。
- (2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

【参考 中学校学習指導要領解説 技術・家庭編「第1章 総説 2 技術・家庭科改訂の趣旨及び要点」から（抜粋）】

(1) 改訂の趣旨

イ 具体的な改善事項

(ア) 指導内容の示し方の改善

第一には、小・中・高等学校の内容の系統性の明確化である。児童生徒の発達を踏まえ、小・中・高等学校の各内容の接続が見えるように、小・中学校においては、「家族・家庭生活」、「衣食住の生活」、「消費生活と環境」に関する三つの枠組みに整理することが適当である。また、この枠組みは、「生活の営みに係る見方・考え方」も踏まえたものである。

第二には、空間軸と時間軸という二つの視点からの学校段階に応じた学習対象の明確化である。空間軸の視点では、家庭、地域、社会という空間的な広がりから、時間軸の視点では、これまでの生活、現在の生活、これからの生活、生涯を見通した生活という時間的な広がりから学習対象を捉えて指導内容を整理することが適当である。

第三には、学習過程を踏まえた改善である。生活の中から問題を見だし、課題を設定し、解決方法を検討し、計画、実践、評価・改善するという一連の学習過程を重視し、この過程を踏まえて基礎的な知識・技能の習得に係る内容や、それらを活用して思考力・判断力・表現力

等の育成に係る内容について整理することが適当である。

技術・家庭科技術分野については、資質・能力や学習過程との関連を図ることが適当であり、以下の内容で構成することが考えられる。

- ・ 技術の仕組みや役割、進展等を、科学的に理解することで、「技術の見方・考え方」に付き、課題の解決に必要となる知識・技能を習得させる内容（「生活や社会を支える技術」）
- ・ 習得した知識・技能を活用して、生活や社会における技術に関わる問題を解決することで、理解の深化や技能の習熟を図るとともに、技術によって問題を解決できる力や技術を工夫し創造しようとする態度を育成する内容（「技術による問題解決」）
- ・ 自らの問題解決の結果と過程を振り返ることで、身に付けた「技術の見方・考え方」に沿って生活や社会を広く見つめなおす内容（「社会の発展と技術」）

(イ) 教育内容の見直し

(技術分野)

生活や社会において様々な技術が複合して利用されている現状を踏まえ、材料、加工、生物育成、エネルギー変換、情報等の専門分野における重要な概念等を基にした教育内容とする。なお、急速な発達を遂げている情報の技術に関しては、小学校におけるプログラミング教育の成果を生かし、発展させるという視点から、従前からの計測・制御に加えて、双方向性のあるコンテンツに関するプログラミングや、ネットワークやデータを活用して処理するプログラミングも題材として扱うことが考えられる。その際、情報セキュリティ等についても充実する。

また、技術の発達を支え、技術改革を牽引するために必要な資質・能力を育成する視点から、知的財産を創造・保護・活用していこうとする態度や使用者・生産者の安全に配慮して設計・製作したりするなどの倫理観の育成を重視する。あわせて、技術の高度化や産業構造の変化等の社会の変化を踏まえ、我が国に根付いているものづくりの文化や伝統的な技術の継承、技術革新及びそれを担う職業・産業への関心、経済的主体等として求められる働くことの意義の理解、他者と協働して粘り強く物事を前に進めようとする事、安全な生活や社会づくりに貢献しようとする事等を重視する。

(2) 改訂の要点

技術・家庭科については、家族・家庭生活の多様化や消費生活の変化等に加えて、グローバル化や少子高齢社会の進展、持続可能な社会の構築等、今後の社会の急激な変化に主体的に対応することや、技術の発達を主体的に支え、技術革新を牽引することができる資質・能力の育成を目指して、目標及び内容について改善を図っている。

3 教科書の調査研究

(1) 内容

ア 調査研究の総括表（調査結果は「別紙1」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠（目標等）	数値データの単位
a 内容区分のページ数と割合	教科の内容	ページ、%
b 生活や社会を支える技術に関するページ数と割合	教科の内容	ページ、%
c 技術による問題の解決に関するページ数と割合	教科の内容	ページ、%
d 社会の発展と技術に関するページ数と割合	教科の内容	ページ、%
e 実践的・体験的な活動に関する内容を取り上げている箇所数	教科の内容	箇所
f 安全・衛生に関する事項を取り上げている箇所数	教科の内容	箇所
g 勤労観・職業観に関する内容を取り上げている箇所数	教科の内容	箇所

h	持続可能な社会に関する内容を取り上げている単元数	教科の内容	個
i	発展的な内容を取り上げている箇所数	学習指導要領 総説	箇所

イ 調査項目の具体的な内容（調査結果は「別紙2」）

① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項

調査研究事項の次の事項について具体的に調査研究する。

- a 内容区分ごとの題材名・小題材名とページ数（別紙2-1）
- b 技術の仕組みや役割進展等を科学的に取り上げている内容とページ数（別紙2-2）
- c 生活や社会における問題を解決する技術について取り上げている内容とページ数（別紙2-3）
- d 生活や社会を広く見つめなおす内容について取り上げている内容とページ数（別紙2-4）
- e ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動について取り上げている項目と箇所（別紙2-5）
- h 持続可能な社会に関する内容を取り上げている単元及び項目名（別紙2-6）
- i 発展的な内容を取り上げている箇所（別紙2-7）

＜その他＞

- * 1 防災や自然災害の扱い（別紙2-8）
 - * 2 脱炭素化の扱い。（別紙2-9）
 - * 3 持続可能な社会づくりの扱い。（別紙2-10）
 - * 4 オリンピック・パラリンピックの扱い（別紙2-11）
 - * 5 固定的な性別役割分担意識に関する記述等
- ＜調査の結果、* 5については記載のないことを確認した。＞

② 調査項目を設定した理由等

技術分野の学習の目標は、技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することである。

- ・ 「A 材料と加工の技術」、「B 生物育成の技術」、「C エネルギー変換の技術」、「D 情報の技術」の四つの内容とし、全ての生徒に履修させることが示されていることから、内容区分ごとの内容とページ数について調査することとした。（a）
- ・ 技術の仕組みや役割、進展等を科学的に理解することで、技術の見方・考え方に気付き、課題の解決に必要な知識及び技能を習得させることが示されていることから、技術の仕組みや役割進展等を科学的に取り上げている内容とページ数について調査することとした。（b）
- ・ 習得した知識及び技能を活用して、生活や社会における技術に関わる問題を解決することで、理解の深化や技能の習熟を図るとともに、技術によって課題を解決する力と、自分なりの新しい考え方や捉え方によって解決策を構想しようとする態度などを育成することが示されていることから、生活や社会における問題を解決する技術について取り上げている内容とページ数について調査することとした。（c）
- ・ 自らの問題解決の結果と過程を振り返ることで、技術の概念を理解し、身に付けた技術の見方・考え方に沿って生活や社会を広く見つめ、技術を評価し、適切な選択、管理・運用の在り方、新たな発想に基づく改良、応用の在り方について考える力と、社会の発展に向けて技術を工夫し創造しようとする態度などを育成することが示されていることから、生活や社会を広く見つめなおす内容について取り上げている内容とページ数について調査することとした。（d）
- ・ ものづくりなどの実習や観察・実験、調査等を通して学習するという技術分野の特徴を示されていることから、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動について取り上げている箇所について、調査することとした。（e）
- ・ 実習室等の環境の整備と管理については、安全管理だけの問題ではなく、実習室内は生徒の学習意欲を喚起するように題材に関する資料や模型、生徒の主体的な学習を支える支援教材等を掲

示するなど工夫し、作業の効率や安全・衛生管理にも配慮して施設・設備等の学習環境の整備に努めるようにすることが示されていることから、安全・衛生に関する事項を取り上げている箇所について、調査することとした。(f)

- ・ 社会や産業で利用されている技術の仕組みを調べる活動や、社会の発展において技術が果たしてきた役割を考える活動などを通して、職業観や勤労観を育成することにも配慮することが大切であること示されていることから、勤労観・職業観に関する内容を取り上げている箇所について、調査することとした。(g)
- ・ よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養うことが示されていることから、持続可能な社会に関する内容を取り上げている単元について調査することとした。(h)
- ・ 学習指導要領第1章総則「第2 教育課程の編成 3教育課程の編成における共通事項 (1) 内容等の取扱い イ」において、「学校において特に必要がある場合には、第2章以下に示していない内容を加えて指導することができる。」と示されている。また、(3)「指導計画の作成等に当たっての配慮事項 イ」では、「各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的、発展的な指導ができるようにすること」と示されている。これらのことから、発展的な内容の扱いの有無、取り上げている内容の具体的な学習の内容について調査する。(i)
- ・ 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査する。(*1)
- ・ 学習指導要領に基づき、環境に係る諸問題を考察させることを通して、これらの問題を正しく理解できるようにするため、脱炭素化の扱いについて調査する。(*2)
- ・ 生徒には、豊かな創造性を備え持続可能な社会の創り手となることが期待される。学習指導要領に基づき、正しい理解ができるように、持続可能な社会づくりの扱いについて、調査する。(*3)
- ・ 東京都教育委員会教育目標の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。(*4)
- ・ 東京都教育委員会の基本方針1及び東京都の男女平等参画推進の施策を踏まえ、固定的な性別役割分担意識の解消や、「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)」に気付いて言動等を見直していくなど、男女の平等を重んずる態度を養うことができるよう、その扱いについて調査する。(*5)

③ 調査研究の方法

- a 内容区分については、学習内容ごとに例示された題材名・小題材名とページ数を調査する。
- b 技術の仕組みや役割進展等を科学的に取り上げている箇所や項目とページ数について調査する。
- c 生活や社会における問題を解決する技術について取り上げている箇所や項目とページ数について調査する。
- d 生活や社会を広く見つめなおす内容について取り上げている箇所や項目とページ数について調査する。
- e ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動について取り上げている項目や箇所について調査する。
- h 持続可能な社会に関する内容を取り上げている単元名、項目名及び掲載ページを整理する。
- i 発展的な内容については、義務教育諸学校教科用図書検定基準第2章2(16)に基づき、発展的な学習内容以外のものと区別して、発展的な学習内容であることが明示されているものを整理する。

<その他>

- *1 防災や自然災害について取り上げている項目及び記述の概要を調査する。
- *2 脱炭素化について取り上げている項目及び記述の概要を調査する。

- * 3 持続可能な社会づくり（持続可能な開発目標）について取り上げられている項目及び記述の概要を調査する。
- * 4 オリンピック・パラリンピックについて取り上げている項目及び記述の概要を調査する。
- * 5 固定的な性別役割分担意識に関する記述等を調査する。

(2) 構成上の工夫（調査結果は「別紙3」）

以下の観点により箇条書きで記述する。

- ア 生活や社会で利用されている技術について分かりやすく示す工夫
- イ 取り上げた技術が生活や社会における問題を解決しているか分かりやすく示す工夫
- ウ 題材に関する資料や模型、支援教材等を分かりやすく示す工夫（安全・衛生）
- エ 学習内容に係る職業について分かりやすく示す工夫（勤労観・職業観）
- オ 安心、安全で豊かな生活や、環境保全と利便性が両立した内容について分かりやすく示す工夫（持続可能な社会）
- カ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫
- キ ユニバーサルデザインの視点
- ク デジタルコンテンツの扱い

「別紙1」 【 (1) 内容 ア 調査研究の総括表 】 (中学校 技術・家庭 技術分野)

項目	a 内容区分のページ数と割合					b 生活や社会を支える技術に関するページ数と割合					c 技術による問題の解決に関するページ数と割合					d 社会の発展と技術に関するページ数と割合					e 実践的・体験的な活動に関する内容を 取り上げている箇所数	f 安全・衛生に関する事項を取り上げ ている箇所数	g 勤労観・職業観に関する内容を 取り上げている箇所数	h 持続可能な社会に関する内容を 取り上げている単元数	i 発展的な内容を 取り上げている箇所 数	
	A	B	C	D	計	A	B	C	D	計	A	B	C	D	計	A	B	C	D	計						
発行者	材料と加工の技術	生物育成の技術	エネルギー変換の技術	情報の技術		材料と加工の技術	生物育成の技術	エネルギー変換の技術	情報の技術		材料と加工の技術	生物育成の技術	エネルギー変換の技術	情報の技術		材料と加工の技術	生物育成の技術	エネルギー変換の技術	情報の技術							
東 書	62 25.8%	48 20.0%	62 25.8%	68 28.3%	240	32 30.8%	18 17.3%	32 30.8%	22 21.2%	104	20 20.8%	20 20.8%	20 20.8%	36 37.5%	96	10 25.0%	10 25.0%	10 25.0%	10 25.0%	40	21	18	34	12	0	
教 図 (別冊含)	68 25.2%	53 19.6%	65 24.1%	84 31.1%	270	20 25.6%	14 17.9%	24 30.8%	20 25.6%	78	44 25.0%	35 19.9%	37 21.0%	60 34.1%	176	4 25.0%	4 25.0%	4 25.0%	4 25.0%	16	27	50	19	5	0	
開隆堂	80 30.8%	52 20.0%	54 20.8%	74 28.5%	260	24 21.4%	22 19.6%	30 26.8%	36 32.1%	112	48 41.4%	22 19.0%	16 13.8%	30 25.9%	116	8 25.0%	8 25.0%	8 25.0%	8 25.0%	32	32	25	7	6	1	
平均値	70.0	51.0	60.3	75.3	256.7	25.3	18.0	28.7	26.0	98.0	37.3	25.7	24.3	42.0	129.3	7.3	7.3	7.3	7.3	29.3	26.7	31.0	20.0	7.7	0.3	

表中の「平均値」は小数点以下第2位を四捨五入した。

a 「内容区分のページ数と割合」は各社の教科書の目次から各内容のページ数を算出した。

b、c、d の内容については、該当する項目のページ数を算出した。

e の内容については、cの中でその事例を取り上げている箇所を数えた。

f、iの内容については、マークで示された箇所を数えた。

g の内容については、専門分野に携わる人々について扱っているものの数、また、その内容を扱った箇所を数えた。

h の内容については、その事項を取り上げている単元及び項目名を数えた。

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容】(中学校 技術・家庭 技術分野)

項目 発行者	a 内容とページ数							
	A 材料と加工の技術	ページ数	B 生物育成の技術	ページ数	C エネルギー変換の技術	ページ数	D 情報の技術	ページ数
東 書	1編 材料と加工の技術 1章 生活や社会を支える材料と加工の技術 1 身の回りの材料と加工の技術 2 材料の特性と加工方法 技術のとびら 木材の特性 技術のとびら 金属の特性 技術のとびら プラスチックの特性 T E C H L a b 製作の基礎技能 3 丈夫な製品を作る工夫 4 材料と加工の技術の問題解決の工夫 2章 材料と加工の技術による問題解決 1 問題の発見と課題の設定 2 解決策の構想 (1) 製作品の設計 技術のとびら 製図 3 解決策の構想 (2) 製作計画 4 作業手順を考えた製作 5 問題解決の評価、改善・修正 問題解決例 3章 社会の発展と材料と加工の技術 1 材料と加工の技術の最適化 2 これからの材料と加工の技術 学習のまとめ 編末資料	62	2編 生物育成の技術 1章 生活や社会を支える生物育成の技術 1 身の回りの生物育成の技術 2 作物の育成環境を調節する技術 3 作物の成長を管理する技術 技術のとびら 作物の栽培 4 動物を育てる技術 5 水産生物を育てる技術 技術のとびら 動物を育てる技術、 水産生物を育てる技術 6 生物育成の技術の問題解決の工夫 2章 生物育成の技術による問題解決 1 問題の発見と課題の設定 2 解決策の構想 育成計画 3 成長段階に合わせた育成 T E C H L a b 栽培の基礎技能 4 問題解決の評価、改善・修正 問題解決例 3章 社会の発展と生物育成の技術 1 生物育成の技術の最適化 2 これからの生物育成の技術 学習のまとめ 編末資料	48	3編 エネルギー変換の技術 1章 生活や社会を支えるエネルギー変換の技術 1 身の回りのエネルギー変換の技術 2 発電の仕組みと特徴 技術のとびら 発電方法の最適化 3 電気を供給する仕組み 技術のとびら 電気エネルギーを 変換して利用する仕組み 4 電気回路の仕組み 5 電気機器を安全に使用するための技術 6 運動エネルギーへの変換と利用 7 回転運動を伝える仕組み 8 さまざまな運動を伝える仕組み 9 機械の共通部品と保守点検の大切さ 10 エネルギー変換の技術の問題解決の工夫 2章 エネルギー変換の技術による問題解決 1 問題の発見と課題の設定 2 解決策の構想 (1) 電気回路の設計・製作 技術のとびら 電気回路の設計・製作 3 解決策の構想 (2) 機構モデルの設計・製作 技術のとびら 機構モデルの設計・製作 4 問題解決の評価、改善・修正 T E C H L a b 製作の基礎技能 問題解決例 3章 社会の発展とエネルギー変換の技術 1 エネルギー変換の技術の最適化 2 これからのエネルギー変換の技術 学習のまとめ 編末資料	62	4編 情報の技術 1章 生活や社会を支える情報の技術 1 身の回りの情報の技術 2 コンピュータの仕組み 3 情報のデジタル化 4 情報通信ネットワークの仕組み 5 情報セキュリティの仕組み 6 情報モラル 7 情報の技術の問題解決の工夫 2章 双方向性のあるコンテンツのプログラミング による問題解決 1 双方向性のあるコンテンツとは 技術のとびら 双方向性のあるコンテンツの プログラミング 2 問題の発見と課題の設定 3 解決策の構想 双方向性のあるコンテンツの設計 4 双方向性のあるコンテンツのプログラムの制作 5 問題解決の評価、改善・修正 問題解決例 3章 計測・制御のプログラミングによる問題解決 1 計測・制御システムとは 技術のとびら 計測・制御システム のプログラミング 2 問題の発見と課題の設定 3 解決策の構想 計測・制御システムの設計 4 計測・制御システムのプログラムの制作 5 問題解決の評価、改善・修正 問題解決例 4章 社会の発展と情報の技術 1 情報の技術の最適化 2 これからの情報の技術 学習のまとめ 編末資料	68

「別紙2-1」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容】(中学校 技術・家庭 技術分野)

項目 発行者	a 内容とページ数							
	A 材料と加工の技術	ページ数	B 生物育成の技術	ページ数	C エネルギー変換の技術	ページ数	D 情報の技術	ページ数
教 図 (別冊含)	<p>A編 材料と加工の技術</p> <p>1章 技術を見つめよう</p> <p>学習の扉</p> <p>1 材料と加工の技術を見つめよう</p> <p>2 材料の特性と加工法を知ろう</p> <p>3 材料と加工の技術の工夫を調べ考えよう</p> <p>4 1章で学んだことをまとめよう</p> <p>2章 技術をいかそう</p> <p>実習の安全な進め方を知ろう</p> <p>1 問題を解決する流れを考えよう</p> <p>プチ問題解決にチャレンジ!</p> <p>不思議な本立てをつくってみよう</p> <p>2 身近な問題を解決してみよう</p> <p>題材例1 「調味料ホルダー」</p> <p>題材例2 「便利なプランターラック」</p> <p>題材例3 「2段小物ラック」</p> <p>題材例4 「ハンチングメタルスタンド」</p> <p>3 2章で学んだことをまとめよう</p> <p>3章 未来をつくらう</p> <p>1 社会の発展と材料と加工の技術</p> <p>A編のまとめ</p> <p>(別冊)</p> <p>A編 材料と加工の技術</p> <p>けがき</p> <p>切断</p> <p>切削</p> <p>穴あけ、折り曲げ</p> <p>組み立て</p> <p>仕上げ</p>	68	<p>B編 生物育成の技術</p> <p>1章 技術を見つめよう</p> <p>学習の扉</p> <p>1 生物を育てる技術を見つめよう</p> <p>2 生物を育てる技術を知ろう</p> <p>3 生物を育てる技術の工夫を調べ考えよう</p> <p>4 1章で学んだことをまとめよう</p> <p>2章 技術をいかそう</p> <p>実習や見学的安全な進め方を知ろう</p> <p>1 問題を解決する流れを考えよう</p> <p>プチ問題解決にチャレンジ!</p> <p>ペビリーフを育ててみよう</p> <p>2 身近な問題を解決してみよう</p> <p>題材例1 「ミニダイコン」</p> <p>題材例2 「ミニトマト」</p> <p>題材例3 「コマツナの鉢栽培」</p> <p>題材例4 「低温処理によるチューリップとハンジウの寄せ植え」</p> <p>題材例5 「乳牛の飼育実習」</p> <p>題材例6 「アワビを育てる技術」</p> <p>3 2章で学んだことをまとめよう</p> <p>3章 未来をつくらう</p> <p>1 社会の発展と生物育成の技術</p> <p>B編のまとめ</p> <p>(別冊)</p> <p>B編 生物育成の技術</p> <p>作物を育てる技術早見表</p> <p>用具</p> <p>土・培養液</p> <p>肥料</p> <p>病害虫</p> <p>成長管理1</p> <p>成長管理2</p> <p>成長管理3</p>	53	<p>C編 エネルギー変換の技術</p> <p>1章 技術を見つめよう</p> <p>学習の扉</p> <p>1 エネルギー変換の技術を見つめよう</p> <p>2 電気に関する技術を知ろう</p> <p>3 電気回路のつくりかたを知ろう</p> <p>4 発電について知ろう</p> <p>5 電気的安全な使いかたを知ろう</p> <p>6 機械に関する技術を知ろう</p> <p>7 保守点検の大切さを知ろう</p> <p>8 エネルギーを変換する技術の工夫を調べ考えよう</p> <p>9 1章で学んだことをまとめよう</p> <p>2章 技術をいかそう</p> <p>実習の安全な進め方を知ろう</p> <p>1 問題を解決する流れを考えよう</p> <p>プチ問題解決にチャレンジ!</p> <p>LEDをつけてみよう</p> <p>ロボットハンドをつくってみよう</p> <p>2 身近な問題を解決してみよう</p> <p>題材例1 「閉め忘れ防止オルゴール」</p> <p>題材例2 「人型二足歩行ロボット」</p> <p>題材例3 「ハンディ扇風機」</p> <p>題材例4 「手回し発電ライト」</p> <p>題材例5 「電動ロボットハンド」</p> <p>題材例6 「ハンカチ折りたたみマシン」</p> <p>2章で学んだことをまとめよう</p> <p>3章 未来をつくらう</p> <p>1 社会の発展とエネルギー変換の技術</p> <p>C編のまとめ</p> <p>(別冊)</p> <p>C編 エネルギー変換の技術</p> <p>組み立て</p> <p>はんだづけ</p> <p>回路計</p>	65	<p>D編 情報の技術</p> <p>1章 技術を見つめよう</p> <p>学習の扉</p> <p>1 情報の技術を見つめよう</p> <p>2 コンピュータが情報を処理するしくみを知ろう</p> <p>3 情報通信ネットワークのしくみを知ろう</p> <p>4 プログラムの基本的な構造を知ろう</p> <p>5 情報セキュリティと情報モラルを知ろう</p> <p>6 情報の技術の工夫を調べ考えよう</p> <p>7 1章で学んだことをまとめよう</p> <p>2章 技術をいかそう①</p> <p>実習の安全な進め方を知ろう</p> <p>1 双方向性のあるコンテンツの技術を知ろう</p> <p>2 問題を解決する流れを考えよう</p> <p>プチ問題解決にチャレンジ!</p> <p>サイコロの目の数を当てるプログラムをつくってみよう</p> <p>3 身近な問題を解決してみよう</p> <p>題材例1 「PTAバザーの案内マップ」</p> <p>題材例2 「私の町の天気予報」</p> <p>題材例3 「簡単チャット」</p> <p>4 2章で学んだことをまとめよう</p> <p>3章 技術をいかそう②</p> <p>1 計測・制御システムの技術を知ろう</p> <p>2 問題を解決する流れを考えよう</p> <p>プチ問題解決にチャレンジ!</p> <p>制御用コンピュータを動かしてみよう</p> <p>3 身近な問題を解決してみよう</p> <p>題材例4 「自動点灯・消灯ライト」</p> <p>題材例5 「自動かん水機」</p> <p>4 3章で学んだことをまとめよう</p> <p>4章 未来をつくらう</p> <p>社会の発展と情報の技術</p> <p>D編のまとめ</p> <p>(別冊)</p> <p>D編 情報の技術</p> <p>ビジュアル(ブロック)型</p> <p>プログラミング言語(スモウルビー)</p> <p>スモウルビーのプログラム例</p> <p>テキスト型プログラミング言語(なでしこ)</p> <p>なでしこのプログラム例</p> <p>いろいろなプログラミング言語</p> <p>基本操作</p>	84

「別紙2-1」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容】(中学校 技術・家庭 技術分野)

項目 発行者	a 内容とページ数							
	A 材料と加工の技術	ページ数	B 生物育成の技術	ページ数	C エネルギー変換の技術	ページ数	D 情報の技術	ページ数
開隆堂	<p>A 材料と加工の技術</p> <p>1-1 生活や社会と材料と加工の技術</p> <p>① 身の回りにおける材料と加工の技術</p> <p>1-2 材料を利用するための技術</p> <p>① 木材の性質と種類</p> <p>② 木材の加工のしくみ</p> <p>③ 金属の材料と加工</p> <p>④ プラスチックの材料と加工</p> <p>⑤ じょうぶな構造や部材</p> <p>⑥ 製図のルールと書き方</p> <p>材料と加工の技術の見方・考え方で既存の製品を読み解こう</p> <p>2-1 問題解決の手順</p> <p>① 問題解決の流れ</p> <p>② 問題の発見と課題の設定</p> <p>③ 構想と設計</p> <p>④ 試作と設計の改善</p> <p>⑤ 製作の準備</p> <p>《実習例》</p> <p>1 小さなスペースで机の上を整理・整頓できるマルチラック</p> <p>2 家族で使える充電しやすいタブレットスタンド</p> <p>3 小さい子でも使いやすいふみ台</p> <p>4 調理スペースが広がる調味料ラック</p> <p>5 見ばえよく植物を飾れる鉢入れ</p> <p>6 必要なものがまとめられるカレンダーつきメモホルダ</p> <p>7 分類して収納できる文房具の整理箱</p> <p>材料と加工の技術 問題解決の評価・改善</p> <p>2-2 製作のための技能(木材)</p> <p>① 材料取り(けがき)</p> <p>② 切断</p> <p>③ 切削</p> <p>④ 穴あけ・溝ほり</p> <p>⑤ 組立て</p> <p>⑥ 仕上げ</p> <p>2-3 製作のための技能(金属・プラスチック)</p> <p>① 材料取り(けがきと切断)</p> <p>② 切削・穴あけ</p> <p>③ 曲げ</p> <p>④ 検査と修正</p> <p>⑤ 組立てと仕上げ</p> <p>⑥ これからの材料と加工の技術</p> <p>① 材料と加工の技術の学習をふり返ろう</p> <p>② 材料と加工の技術と私たちの未来学習のまとめ</p>	80	<p>B 生物育成の技術</p> <p>1-1 生活や社会と生物育成の技術</p> <p>① 身の回りにおける生物育成の技術</p> <p>1-2 さまざまな生物育成の技術</p> <p>① 作物の栽培</p> <p>② 作物の栽培の技能</p> <p>③ 動物の飼育</p> <p>④ 動物の飼育の技能</p> <p>⑤ 水産生物の栽培</p> <p>⑥ 水産生物の栽培の技能</p> <p>⑦ 森林の育成技術</p> <p>生物育成の技術の見方・考え方で既存の育成方法を読み解こう</p> <p>2 生物育成の技術による問題解決</p> <p>① 問題解決の流れ</p> <p>② 育成計画と育成記録</p> <p>資料 栽培ごよみ</p> <p>《実習例》</p> <p>1 ミニトマトの栽培</p> <p>2 リーフレタスの養液栽培</p> <p>3 ラディッシュの容器栽培</p> <p>4 キュウリの容器栽培</p> <p>5 チューリップの栽培</p> <p>6 イネの容器栽培</p> <p>7 乳牛の飼育</p> <p>8 水産生物の栽培</p> <p>生物育成の技術 問題解決の評価・改善</p> <p>3 これからの生物育成の技術</p> <p>① 生物育成の技術の学習をふり返ろう</p> <p>② 生物育成の技術と私たちの未来学習のまとめ</p>	52	<p>C エネルギー変換の技術</p> <p>1-1 生活や社会とエネルギー変換の技術</p> <p>① 身の回りにおけるエネルギー変換の技術</p> <p>1-2 電気の供給と利用</p> <p>① 発電の方法</p> <p>② 電気の供給のしくみ</p> <p>③ 電気機器の安全な利用</p> <p>④ 電気エネルギーを変換する技術</p> <p>⑤ 電気回路と回路図</p> <p>⑥ 電気機器の保守点検</p> <p>1-3 運動の利用</p> <p>① 機械と動力</p> <p>② 回転運動の伝達</p> <p>③ 運動を変化させる機構</p> <p>④ 機械の共通部品と保守点検</p> <p>エネルギー変換の技術の見方・考え方で既存の製品や機器を読み解こう</p> <p>2 エネルギー変換の技術による問題解決</p> <p>① 問題解決の流れ</p> <p>アイデアを実現するためのヒント(電気)</p> <p>アイデアを実現するためのヒント(機械)</p> <p>《実習例》</p> <p>1 非常時に光る防災用ライト</p> <p>2 フォークリフトつき自動車モデル</p> <p>3 必要なときに動作させるLEDライト</p> <p>4 お手軽電動クレーナー</p> <p>エネルギー変換の技術 問題解決の評価・改善</p> <p>3 これからのエネルギー変換の技術</p> <p>① エネルギー変換の技術の学習をふり返ろう</p> <p>② エネルギー変換の技術と私たちの未来学習のまとめ</p>	54	<p>D 情報の技術</p> <p>1-1 生活や社会と情報の技術</p> <p>① 身の回りにおける情報の技術</p> <p>② コンピュータの構成</p> <p>③ 情報のデジタル化</p> <p>④ デジタル情報の特徴</p> <p>1-2 情報の伝達</p> <p>① 情報通信ネットワークのしくみ</p> <p>② Webのしくみと情報の表現</p> <p>1-3 情報セキュリティと情報モラル</p> <p>① 情報セキュリティ</p> <p>② 情報モラル</p> <p>③ 知的財産の保護と活用</p> <p>1-4 コンピュータとプログラミング</p> <p>① コンピュータによる処理のしくみ</p> <p>② プログラムの構造と表現</p> <p>情報の技術の見方・考え方で既存の機器やシステムを読み解こう</p> <p>2-1 双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決</p> <p>① メディアを利用した情報の表現</p> <p>② 双方向性とユーザインタフェース</p> <p>③ 問題解決の流れ</p> <p>《実習例》</p> <p>1 安心して使えるメッセージ交換アプリ</p> <p>2 ネット対戦型タイピング練習</p> <p>3 防災地図アプリ</p> <p>4 ルート検索アプリ</p> <p>5 無人レジシステム</p> <p>6 図書検索システム</p> <p>7 高齢者に使いやすい避難所案内アプリ</p> <p>2-2 計測・制御のプログラミングによる問題解決</p> <p>① コンピュータを使って機器を自動で動かすしくみ</p> <p>② 問題解決の流れ</p> <p>《実習例》</p> <p>1 お掃除ロボットモデル</p> <p>2 ドアの開閉を検知するセキュリティ対策</p> <p>3 自分の動きを計測するトレーニング補助装置</p> <p>4 電子料金自動収受システム(ETC)のモデル</p> <p>5 AIを使ったごみの分別判定システム</p> <p>6 カギを使わない安全なドアの開閉システム</p> <p>情報の技術 問題解決の評価・改善</p> <p>3 これからの情報の技術</p> <p>① 情報の技術の学習をふり返ろう</p> <p>② 情報の技術と私たちの未来学習のまとめ</p>	74

「別紙2-2」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容】(中学校 技術・家庭 技術分野)

項目 発行者	b 技術の仕組みや役割進展等を科学的に取り上げている内容とページ数							
	A 材料と加工の技術	ページ数	B 生物育成の技術	ページ数	C エネルギー変換の技術	ページ数	D 情報の技術	ページ数
東 書	1章 生活や社会を支える材料と加工の技術 1 身の回りの材料と加工の技術 2 材料の特性と加工方法 技術のとびら 木材の特性 技術のとびら 金属の特性 技術のとびら プラスチックの特性 T E C H L a b 製作の基礎技能 3 丈夫な製品を作る工夫 4 材料と加工の技術の問題解決の工夫	32	1章 生活や社会を支える生物育成の技術 1 身の回りの生物育成の技術 2 作物の育成環境を調節する技術 3 作物の成長を管理する技術 技術のとびら 作物の栽培 4 動物を育てる技術 5 水産生物を育てる技術 技術のとびら 動物を育てる技術、 水産生物を育てる技術 6 生物育成の技術の問題解決の工夫	18	1章 生活や社会を支えるエネルギー変換の技術 1 身の回りのエネルギー変換の技術 2 発電の仕組みと特徴 技術のとびら 発電方法の最適化 3 電気を供給する仕組み 技術のとびら 電気エネルギーを 変換して利用する仕組み 4 電気回路の仕組み 5 電気機器を安全に使用するための技術 6 運動エネルギーへの変換と利用 7 回転運動を伝える仕組み 8 ささまざまな運動を伝える仕組み 9 機械の共通部品と保守点検の大切さ 10 エネルギー変換の技術の問題解決の工夫	32	4編 情報の技術 1章 生活や社会を支える情報の技術 1 身の回りの情報の技術 2 コンピュータの仕組み 3 情報のデジタル化 4 情報通信ネットワークの仕組み 5 情報セキュリティの仕組み 6 情報モラル 7 情報の技術の問題解決の工夫	22
教 図 (別冊含)	1章 技術を見つめよう 学習の扉 1 材料と加工の技術を見つけよう 2 材料の特性と加工法を知ろう 3 材料と加工の技術の工夫を調べよう 4 1章で学んだことをまとめよう	20	1章 技術を見つめよう 学習の扉 1 生物を育てる技術を見つけよう 2 生物を育てる技術を知ろう 3 生物を育てる技術の工夫を調べよう 4 1章で学んだことをまとめよう	14	1章 技術を見つめよう 学習の扉 1 エネルギー変換の技術を見つけよう 2 電気に関する技術を知ろう 3 電気回路のつくりかたを知ろう 4 発電について知ろう 5 電気の安全な使いかたを知ろう 6 機械に関する技術を知ろう 7 保守点検の大切さを知ろう 8 エネルギーを変換する技術の工夫を調べよう 9 1章で学んだことをまとめよう	24	1章 技術を見つめよう 学習の扉 1 情報の技術を見つけよう 2 コンピュータが情報を処理するしくみを知ろう 3 情報通信ネットワークのしくみを知ろう 4 プログラムの基本的な構造を知ろう 5 情報セキュリティと情報モラルを知ろう 6 情報の技術の工夫を調べよう 7 1章で学んだことをまとめよう	20
開隆堂	1-1 生活や社会と材料と加工の技術 ① 身の回りにある材料と加工の技術 1-2 材料を利用するための技術 ① 木材の性質と種類 ② 木材の加工のしくみ ③ 金属の材料と加工 ④ プラスチックの材料と加工 ⑤ じょうぶな構造や部材 ⑥ 製図のルールと書き方 材料と加工の技術の見方・考え方で 既存の製品を読み解こう	24	1-1 生活や社会と生物育成の技術 ① 身の回りにある生物育成の技術 1-2 ささまざまな生物育成の技術 ① 作物の栽培 ② 作物の栽培の技能 ③ 動物の飼育 ④ 動物の飼育の技能 ⑤ 水産生物の栽培 ⑥ 水産生物の栽培の技能 ⑦ 森林の育成技術 生物育成の技術の見方・考え方で 既存の育成方法を読み解こう	22	1-1 生活や社会とエネルギー変換の技術 ① 身の回りにあるエネルギー変換の技術 1-2 電気の供給と利用 ① 発電の方法 ② 電気の供給のしくみ ③ 電気機器の安全な利用 ④ 電気エネルギーを変換する技術 ⑤ 電気回路と回路図 ⑥ 電気機器の保守点検 1-3 運動の利用 ① 機械と動力 ② 回転運動の伝達 ③ 運動を変化させる機構 ④ 機械の共通部品と保守点検 エネルギー変換の技術の見方・考え方で 既存の製品や機器を読み解こう	30	1-1 生活や社会と情報の技術 ① 身の回りにある情報の技術 ② コンピュータの構成 ③ 情報のデジタル化 ④ デジタル情報の特徴 1-2 情報の伝達 ① 情報通信ネットワークのしくみ ② Webのしくみと情報の表現 1-3 情報セキュリティと情報モラル ① 情報セキュリティ ② 情報モラル ③ 知的財産の保護と活用 1-4 コンピュータとプログラミング ① コンピュータによる処理のしくみ ② プログラムの構造と表現 情報の技術の見方・考え方で 既存の機器やシステムを読み解こう	36

「別紙2-3」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容】(中学校 技術・家庭 技術分野)

項目 発行者	c 生活や社会における問題を解決する技術について取り上げている内容とページ数							
	A 材料と加工の技術	ページ数	B 生物育成の技術	ページ数	C エネルギー変換の技術	ページ数	D 情報の技術	ページ数
東 書	2章 材料と加工の技術による問題解決 1 問題の発見と課題の設定 2 解決策の構想 (1) 製作品の設計 技術のとびら 製図 3 解決策の構想 (2) 製作計画 4 作業手順を考えた製作 5 問題解決の評価、改善・修正 問題解決例	20	2章 生物育成の技術による問題解決 1 問題の発見と課題の設定 2 解決策の構想 育成計画 3 成長段階に合わせた育成 T E C H L a b 栽培の基礎技能 4 問題解決の評価、改善・修正 問題解決例	20	2章 エネルギー変換の技術による問題解決 1 問題の発見と課題の設定 2 解決策の構想 (1) 電気回路の設計・製作 技術のとびら 電気回路の設計・製作 3 解決策の構想 (2) 機構モデルの設計・製作 技術のとびら 機構モデルの設計・製作 4 問題解決の評価、改善・修正 T E C H L a b 製作の基礎技能 問題解決例	20	2章 双方向性のあるコンテンツのプログラミング による問題解決 1 双方向性のあるコンテンツとは 技術のとびら 双方向性のある コンテンツのプログラミング 2 問題の発見と課題の設定 3 解決策の構想 双方向性のあるコンテンツの設計 4 双方向性のあるコンテンツのプログラムの制作 5 問題解決の評価、改善・修正 問題解決例 3章 計測・制御のプログラミングによる問題解決 1 計測・制御システムとは 技術のとびら 計測・制御システム のプログラミング 2 問題の発見と課題の設定 3 解決策の構想 計測・制御システムの設計 4 計測・制御システムのプログラムの制作 5 問題解決の評価、改善・修正 問題解決例	36

「別紙2-3」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容】(中学校 技術・家庭 技術分野)

項目 発行者	c 生活や社会における問題を解決する技術について取り上げている内容とページ数							
	A 材料と加工の技術	ページ数	B 生物育成の技術	ページ数	C エネルギー変換の技術	ページ数	D 情報の技術	ページ数
教 図 (別冊含)	<p>2章 技術をいかそう 実習の安全な進め方を知ろう</p> <p>1 問題を解決する流れを考えよう ブチ問題解決にチャレンジ! 不思議な本立てをつくってみよう</p> <p>2 身近な問題を解決してみよう 題材例 1 「調味料ホルダー」 題材例 2 「便利なブランターラック」 題材例 3 「2段小物ラック」 題材例 4 「パンチングメタルスタンド」</p> <p>3 2章で学んだことをまとめよう</p> <p>(別冊) A編 材料と加工の技術 けがき 切断 切削 穴あけ、折り曲げ 組み立て 仕上げ</p>	44	<p>2章 技術をいかそう 実習や見学の安全な進め方を知ろう</p> <p>1 問題を解決する流れを考えよう ブチ問題解決にチャレンジ! ベビーリーフを育ててみよう</p> <p>2 身近な問題を解決してみよう 題材例 1 「ミニダイコン」 題材例 2 「ミニトマト」 題材例 3 「コマツナの鉢栽培」 題材例 4 「低温処理によるチュウリップとパンジーの寄せ植え」 題材例 5 「乳牛の飼育実習」 題材例 6 「アロビを育てる技術」</p> <p>3 2章で学んだことをまとめよう</p> <p>(別冊) B編 生物育成の技術 作物を育てる技術早見表 用具 土・培養液 肥料 病害虫 成長管理 1 成長管理 2 成長管理 3</p>	35	<p>2章 技術をいかそう 実習の安全な進め方を知ろう</p> <p>1 問題を解決する流れを考えよう ブチ問題解決にチャレンジ! LEDをつけてみよう ロボットハンドをつくってみよう</p> <p>2 身近な問題を解決してみよう 題材例 1 「閉め忘れ防止オルゴール」 題材例 2 「人型二足歩行ロボット」 題材例 3 「ハンディ扇風機」 題材例 4 「手回し発電ライト」 題材例 5 「電動ロボットハンド」 題材例 6 「ハンカチ折りたたみマシン」</p> <p>3 2章で学んだことをまとめよう</p> <p>(別冊) C編 エネルギー変換の技術 組み立て はんだづけ 回路計</p>	37	<p>2章 技術をいかそう① 実習の安全な進め方を知ろう</p> <p>1 双方向性のあるコンテンツの技術を知ろう</p> <p>2 問題を解決する流れを考えよう ブチ問題解決にチャレンジ! サイコロの目の数を当てるプログラムをつくってみよう</p> <p>3 身近な問題を解決してみよう 題材例 1「PTAバザーの案内マップ」 題材例 2「私の町の天気予報」 題材例 3「簡単チャット」</p> <p>4 2章で学んだことをまとめよう</p> <p>3章 技術をいかそう②</p> <p>1 計測・制御システムの技術を知ろう</p> <p>2 問題を解決する流れを考えよう ブチ問題解決にチャレンジ! 制御用コンピュータを動かしてみよう</p> <p>3 身近な問題を解決してみよう 題材例 4「自動点灯・消灯ライト」 題材例 5「自動かん水機」</p> <p>4 3章で学んだことをまとめよう</p> <p>(別冊) D編 情報の技術 ビジュアル(ブロック)型 プログラミング言語(スモウルビー) スモウルビーのプログラム例 テキスト型プログラミング言語(なでしこ) なでしこのプログラム例 いろいろなプログラミング言語 基本操作</p>	60

「別紙2-3」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容】(中学校 技術・家庭 技術分野)

項目 発行者	c 生活や社会における問題を解決する技術について取り上げている内容とページ数							
	A 材料と加工の技術	ページ数	B 生物育成の技術	ページ数	C エネルギー変換の技術	ページ数	D 情報の技術	ページ数
開隆堂	2-1 問題解決の手順 ① 問題解決の流れ ② 問題の発見と課題の設定 ③ 構想と設計 ④ 試作と設計の改善 ⑤ 製作の準備 《実習例》 1 小さなスペースで机の上を整理・整頓できるマルチラック 2 家族で使える充電しやすいタブレットスタンド 3 小さい子でも使いやすいふみ台 4 調理スペースが広がる調味料ラック 5 見ばえよく植物を飾れる鉢入れ 6 必要なものがまとめられるカレンダーつきメモホルダ 7 分類して収納できる文房具の整理箱 材料と加工の技術 問題解決の評価・改善 2-2 製作のための技能(木材) ① 材料取り(けがき) ② 切断 ③ 切削 ④ 穴あけ・溝ほり ⑤ 組立て ⑥ 仕上げ 2-3 製作のための技能(金属・プラスチック) ① 材料取り(けがきと切断) ② 切削・穴あけ ③ 曲げ ④ 検査と修正 ⑤ 組立てと仕上げ	48	2 生物育成の技術による問題解決 ① 問題解決の流れ ② 育成計画と育成記録 資料 栽培ごみ 《実習例》 1 ミニトマトの栽培 2 リーフレタスの養液栽培 3 ラディッシュの容器栽培 4 キュウリの容器栽培 5 チューリップの栽培 6 イネの容器栽培 7 乳牛の飼育 8 水産生物の栽培 生物育成の技術 問題解決の評価・改善	22	2 エネルギー変換の技術による問題解決 ① 問題解決の流れ アイデアを実現するためのヒント(電気) アイデアを実現するためのヒント(機械) 《実習例》 1 非常時に光る防災用ライト 2 フォークリフトつき自動車モデル 3 必要なときに動作させるLEDライト 4 お手軽電動クリーナー エネルギー変換の技術 問題解決の評価・改善	16	2-1 双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決 ① メディアを利用した情報の表現 ② 双方向性とユーザインタフェース ③ 問題解決の流れ 《実習例》 1 安心して使えるメッセージ交換アプリ 2 ネット対戦型タイピング練習 3 防災地図アプリ 4 ルート検索アプリ 5 無人レジシステム 6 図書検索システム 7 高齢者に使いやすい避難所案内アプリ 2-2 計測・制御のプログラミングによる問題解決 ① コンピュータを使って機器を自動で動かすしくみ ② 問題解決の流れ 《実習例》 1 お掃除ロボットモデル 2 ドアの開閉を検知するセキュリティ対策 3 自分の動きを計測するトレーニング補助装置 4 電子料金自動收受システム(ETC)のモデル 5 AIを使ったごみの分別判定システム 6 カギを使わない安全なドアの開閉システム 情報の技術 問題解決の評価・改善	30

「別紙2-4」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容】(中学校 技術・家庭 技術分野)

項目 発行者	d 生活や社会を広く見つめなおす内容について取り上げている内容とページ数							
	A 材料と加工の技術	ページ数	B 生物育成の技術	ページ数	C エネルギー変換の技術	ページ数	D 情報の技術	ページ数
東 書	3章 社会の発展と材料加工の技術 1 材料加工の技術の最適化 2 これからの材料と加工の技術 学習のまとめ 編末資料	10	3章 社会の発展と生物育成の技術 1 生物育成の技術の最適化 2 これからの生物育成の技術 学習のまとめ 編末資料	10	3章 社会の発展とエネルギー変換の技術 1 エネルギー変換の技術の最適化 2 これからのエネルギー変換の技術 学習のまとめ 編末資料	10	4章 社会の発展と情報の技術 1 情報の技術の最適化 2 これからの情報の技術 学習のまとめ 編末資料	10
教 図 (別冊含)	3章 未来をつくろう 1 社会の発展と材料と加工の技術 A編のまとめ	4	3章 未来をつくろう 1 社会の発展と生物育成の技術 B編のまとめ	4	3章 未来をつくろう 1 社会の発展とエネルギー変換の技術 C編のまとめ	4	4章 未来をつくろう 社会の発展と情報の技術 D編のまとめ	4
開隆堂	3 これからの材料と加工の技術 ① 材料と加工の技術の学習をふり返ろう ② 材料と加工の技術と私たちの未来 学習のまとめ	8	3 これからの生物育成の技術 ① 生物育成の技術の学習をふり返ろう ② 生物育成の技術と私たちの未来 学習のまとめ	8	3 これからのエネルギー変換の技術 ① エネルギー変換の技術の学習をふり返ろう ② エネルギー変換の技術と私たちの未来 学習のまとめ	8	3 これからの情報の技術 ① 情報の技術の学習をふり返ろう ② 情報の技術と私たちの未来 学習のまとめ	8

「別紙2-5」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容】(中学校 技術・家庭 技術分野)

項目 発行者	<p style="text-align: center;">e ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動について取り上げている箇所</p>
東 書	<p>1 編 材料と加工の技術 2 章 材料と加工の技術による問題解決 1 問題の発見と課題の設定 2 解決策の構想 (1) 製作品の設計 3 解決策の構想 (2) 製作計画 4 作業手順を考えた製作 5 問題解決の評価、改善・修正 [例] 教科書マルチラック、リモコンラック、踏み台、タブレット端末の角度を調整する台 2 編 生物育成の技術 2 章 生物育成の技術による問題解決 1 問題の発見と課題の設定 2 解決策の構想 育成計画 3 成長段階に合わせた育成 4 問題解決の評価、改善・修正 [例] ミニトマト、リーフレタス、ナス、パンジー 3 編 エネルギー変換の技術 2 章 エネルギー変換の技術による問題解決 1 問題の発見と課題の設定 2 解決策の構想 (1) 電気回路の設計・製作 3 解決策の構想 (2) 機構モデルの設計・製作 4 問題解決の評価、改善・修正 [例] 手回し発電ライト、レスキューロボット、省エネルギーのための製品、風量調節ができる扇風機、さくらんぼを収穫する機構モデル 4 編 情報の技術 2 章 双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決 1 双方向性のあるコンテンツとは 2 問題の発見と課題の設定 3 解決策の構想 双方向性のあるコンテンツの設計 4 双方向性のあるコンテンツのプログラムの制作 5 問題解決の評価、改善・修正 [例] チャットシステム、選んだ言語に翻訳されるアプリ、野菜の名前と値段を表示するシステム、デジタル防災マップ 3 章 計測・制御のプログラミングによる問題解決 1 計測・制御システムとは 2 問題の発見と課題の設定 3 解決策の構想 計測・制御システムの設計 4 計測・制御システムのプログラムの制作 5 問題解決の評価、改善・修正 [例] 計測・制御システム、自動的に風を起こすシステム、自動で人についていく台車システム、不審な窓の動きを検知すると音や光で周囲に知らせるシステム</p>

「別紙2-5」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容】(中学校 技術・家庭 技術分野)

項目 発行者	<p>e ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動について取り上げている箇所</p>
<p>教 図 (別冊含)</p>	<p>A編 材料と加工の技術 2章 1 問題を解決する流れを考えよう 2 身近な問題を解決してみよう 〔例〕 不思議な本立て、調味料ホルダー、便利なプリンターラック、2段小物ラック、パンチングメタルスタンド 別冊：けがき、切断、切削、穴あけ、折り曲げ、組み立て、仕上げ</p> <p>B編 生物育成の技術 2章 1 問題を解決する流れを考えよう 2 身近な問題を解決してみよう 〔例〕 ベビーリーフ、ミニダイコン、ミニトマト、コマツナの鉢栽培、低温処理によるチューリップとパンジーの寄せ植え、乳牛の飼育実習、アワビを育てる技術 別冊：作物を育てる技術早見表、用具、土・培養液、肥料、病害虫、成長管理1、成長管理2、成長管理3</p> <p>C編 エネルギー変換の技術 2章 1 問題を解決する流れを考えよう 2 身近な問題を解決してみよう 〔例〕 LED、ロボットハンド、閉め忘れ防止オルゴール、人型二足歩行ロボット、ハンディ扇風機、手回し発電ライト、電動ロボットハンド、ハンカチ折りたたみマシン 別冊：組み立て、はんだづけ、回路計</p> <p>D編 情報の技術 2章 1 双方向性のあるコンテンツの技術を知ろう 2 問題を解決する流れを考えよう 3 身近な問題を解決してみよう 〔例〕 サイコロの目の数を当てるプログラム、PTAバザーの案内マップ、私の町の天気予報、簡単チャット 3章 1 計測・制御システムの技術を知ろう 2 問題を解決する流れを考えよう 3 身近な問題を解決してみよう 〔例〕 制御用コンピュータ、自動点灯・消灯ライト、自動かん水機 別冊：ビジュアル（ブロック）型プログラミング言語（スモウルビー）、スモウルビーのプログラム例、テキスト型プログラミング言語（なでしこ）、なでしこのプログラム例、 いろいろなプログラミング言語、基本操作</p>

「別紙2-5」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容】(中学校 技術・家庭 技術分野)

項目 発行者	<p>e ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動について取り上げている箇所</p>
開隆堂	<p>A 材料と加工の技術 2-1 問題解決の手順 ① 問題解決の流れ ② 問題の発見と課題の設定 ③ 構想と設計 ④ 試作と設計の改善 ⑤ 製作の準備 [例] 小さなスペースで机の上を整理・整頓できるマルチラック、家族で使える充電しやすいタブレットスタンド、小さい子でも使いやすいふみ台、調理スペースが広がる調味料ラック、見ばえよく植物を飾れる鉢入れ、必要なものがまとめられるカレンダーつきメモホルダ、分類して収納できる文房具の整理箱</p> <p>2-2 製作のための技能(木材) ① 材料取り(けがき) ② 切断 ③ 切削 ④ 穴あけ・溝ほり ⑤ 組立て ⑥ 仕上げ</p> <p>2-3 製作のための技能(金属・プラスチック) ① 材料取り(けがきと切断) ② 切削・穴あけ ③ 曲げ ④ 検査と修正 ⑤ 組立てと仕上げ</p> <p>B 生物育成の技術 2 生物育成の技術による問題解決 ① 問題解決の流れ ② 育成計画と育成記録 [例] ミニトマトの栽培、リーフレタスの養液栽培、ラディッシュの容器栽培、キュウリの容器栽培、チューリップの栽培、イネの容器栽培、乳牛の飼育、水産生物の栽培</p> <p>C エネルギー変換の技術 2 エネルギー変換の技術による問題解決 ① 問題解決の流れ [例] 非常時に光る防災用ライト、フォークリフトつき自動車モデル、必要なときに動作させるLEDライト、お手軽電動クリーナー</p> <p>D 情報の技術 2-1 双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決 ① メディアを利用した情報の表現 ② 双方向性とユーザインタフェース ③ 問題解決の流れ [例] 安心して使えるメッセージ交換アプリ、ネット対戦型タイピング練習、防災地図アプリ、ルート検索アプリ、無人レジシステム、図書検索システム、高齢者に使いやすい避難所案内アプリ</p> <p>2-2 計測・制御のプログラミングによる問題解決 ① コンピュータを使って機器を自動で動かすしくみ ② 問題解決の流れ [例] お掃除ロボットモデル、ドアの開閉を検知するセキュリティ対策、自分の動きを計測するトレーニング補助装置、電子料金自動収受システム(ETC)のモデル、AIを使ったごみの分別判定システム、カギを使わない安全なドアの開閉システム</p>

「別紙2-6」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容】(中学校 技術・家庭 技術分野)

項目 発行者	h 持続可能な社会に関する内容を取り上げている単元及び項目名
東 書	<p>「ようこそ 技術の世界へ」・【本文、イラスト】あなたには、持続可能な社会が見えますか(見返し) 「SDGsとTechnology」・【本文、コラム、写真、イラスト】持続可能な社会の実現のために、技術を活用してどのようなことができるだろうか(P10-11) 「これからの材料と加工の技術」・【本文、コラム、写真、図、イラスト】持続可能な社会のために、材料と加工の技術でどのようなことができるだろうか(P80-83) 「学習のまとめ」・【本文、写真】持続可能な社会の構築のために、今後どのような問題解決をしていきたいですか(P84-85) 「これからの生物育成の技術」・【本文、コラム、写真、図、イラスト】持続可能な社会のために、生物育成の技術でどのようなことができるだろうか(P128-131) 「学習のまとめ」・【本文、写真】持続可能な社会の構築のために、今後どのような問題解決をしていきたいですか(P132-133) 「問題解決例」・【本文、コラム、写真、図、イラスト】持続可能な社会のための製品開発(P182-183) 「これからのエネルギー変換の技術」・【本文、コラム、図、写真、イラスト】持続可能な社会のために、エネルギー変換の技術でどのようなことができるだろうか(P190-193) 「学習のまとめ」・【本文、写真】持続可能な社会の構築のために、今後どのような問題解決をしていきたいですか(P194-195) 「最適化の窓」・【本文、図、イラスト】持続可能な社会の実現のために、情報の技術でできることはどのようなことだろうか(P198-199) 「これからの情報の技術」・【本文、図、写真、イラスト】持続可能な社会のために、情報の技術でどのようなことができるだろうか(P258-261) 「学習のまとめ」・【本文、写真】持続可能な社会の構築のために、今後どのような問題解決をしていきたいですか(P262-263)</p>
教 図 (別冊含)	<p>「社会の発展と材料と加工の技術」・【本文、コラム、写真、図、イラスト】(キーワード:持続可能な社会)それが、持続可能な未来の社会をつくることにつながるはず(P66-67) 「社会の発展と生物育成の技術」・【本文、コラム、写真、図、イラスト】(キーワード:持続可能な社会)持続可能な社会をつくるのが大切です(P108-109) 「社会の発展とエネルギー変換の技術」・【本文、コラム、図、イラスト】(キーワード:持続可能な社会)持続可能な社会の構築を目指すために(P168-169) 「社会の発展と情報の技術」・【本文、コラム、写真、イラスト】(キーワード:持続可能な社会)自然環境の維持や保全、伝統文化の保護、知的財産権の尊重(P242-243) 「夢をかなえる技術」・【本文、写真、イラスト】3年間の技術分野の学習を通して、持続可能な社会に向けた技術の上手なしかたを学んできました(P246-249)</p>
開隆堂	<p>「材料と加工の技術の学習をふり返ろう」・【本文、コラム、写真、図】持続可能な社会を形成するために、消費者の視点で考える三つのR(P98-99) 「材料と加工の技術と私たちの未来」・【本文、コラム、写真、図】よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて(P100-101) 「生物育成の技術と私たちの未来」・【本文、コラム、写真、図】よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて(P152-153) 「生物育成の技術と環境」・【コラム、図】生物育成のもつ多面的機能を活用して、持続可能な社会の構築を目指しましょう(P157) 「エネルギー変換の技術と私たちの未来」・【本文、コラム、写真、図】よりよい生活や持続可能な社会を実現したものになるように(P206-207) 「持続可能な社会を目指して」・【本文、コラム、写真、図、イラスト】あなたが学んだ技術の力で、持続可能な社会を実現しましょう(巻末)</p>

「別紙2-7」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容】(中学校 技術・家庭 技術分野)

項目 発行者	i 発展的な内容を取り上げている箇所
東 書	記載なし
教 図 (別冊含)	記載なし
開隆堂	「光へ変換する方法と特徴」・【コラム、写真、図】LEDのしくみ、PN接合面など(P171)

「別紙2-8」【 防災や自然災害の扱い 】（中学校 技術・家庭 技術分野）

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要（掲載ページ）
東 書	<p>「自然災害に備えるためのデータ活用」・【コラム、写真】可視化するシステム(P11) 「技術の工夫 かまどベンチ」・【コラム】災害時に役に立つ機能をもった公共物が増えています (P26-28) 「技術の工夫 東京スカイツリーの制振技術」・【コラム】揺れの速度の違いを作り、地震の揺れを吸収(P52) 「災害時の電気事故の防止」・【コラム、イラスト】日頃からの備え、災害が起きたら (P153) 「問題の発見と課題の設定」・【本文、図、イラスト】考えてみよう、防災・減災 (P168-169) 「解決策の構想(2) 機構モデルの設計・製作」・【本文、写真、図、イラスト】災害時に活躍するレスキューロボット (P174-175) 「学習のまとめ」・【本文】万が一に備えて、電池がなくても使える防災ライトが欲しい(P194-195) 「問題解決例」・【本文、図、イラスト】デジタル防災マップ(P236-237) 「自然災害の被害に備える情報の技術」・【コラム、写真】データの計測、処理 (P260) 「学習のまとめ」・【本文】夜、地震があったとき、部屋の出入り口がどこか(P262-263) 「学んだことを社会に生かす 情報の技術」・【コラム・写真】災害時に救助や探索を行うロボットを開発している (P275) 「いつ発生するか分からない災害に備えて」・【コラム・写真】遠隔操作により、人が近づけない危険なところで、人を救助したり、作業したりする (巻末)</p>
教 図 (別冊含)	<p>「法隆寺の建築技術」・【コラム、写真、図】地震のときには、各層が左右互い違いに揺れたり、さらに心柱が各層に当たったりすることで揺れがおさえられます (P29) 「建物の強度を高める工夫」・【コラム、写真】耐震・制震・免震 (P33) 「社会の発展と材料と加工の技術」・【本文、写真、図】土砂災害の防止など、私たちに欠かさない役割 (P66-67) 「やってみよう」・【本文、写真、イラスト】次のキーワードをヒントにして話し合おう。防災・減災(P68) 「やってみよう」・【本文、写真、イラスト】次のキーワードをヒントにして話し合おう。防災・減災(P110) 「人型二足歩行ロボット」・【本文、写真、図、イラスト】災害時に活躍する動きを考える (P158-163) 「手回し発電ライト」・【コラム、写真、図、イラスト】突然の災害のときに使える、ちょっとしたライトがあると安心(P164) 「やってみよう」・【本文、写真、イラスト】次のキーワードをヒントにして話し合おう。防災・減災(P170) 「やってみよう」・【本文、写真、イラスト】次のキーワードをヒントにして話し合おう。防災・減災(P244) 「山間部に荷物を運ぶドローン」・【コラム、写真】災害時には、物資を被災地に運ぶことも可能になる (P247)</p>
開隆堂	<p>「材料と加工の技術」・【コラム、図】地震の揺れを軽減する技術(P24) 「災害を防ぐ森林のはたらき」・【コラム、写真、表】森林は、水を蓄えることにより、洪水を防ぐはたらきや、土砂の流出を防ぐはたらきなどがあります(P157) 「非常時に光る防災用ライト」・【本文、写真、図】非常時に光る防災用ライト (P194-195) 「エネルギー変換の技術 問題解決の評価・改善」・【本文・写真】非常時に光る防災用ライト(P202-203) 「データセンタ」・【コラム、写真】データを守るために、非常用電源、免振構造、入退室管理などさまざまな対策がされている(P225) 「防災地図アプリ」・【本文、写真、図】危険な場所を見つけたので、みんなで情報を共有したい(P259) 「高齢者に使いやすい避難所案内アプリ」・【本文、写真、図】地域に、地震と水害用の避難所があり、高齢者はどちらに避難すればよいのか(P262-263) 「命をつなぐ防災、医療・介護の技術」・【本文、コラム、写真、イラスト】天気の変化を把握する、VRで災害を体験、森林の管理で土砂災害を防ぐ、津波から避難する施設、制振技術・免震技術 (巻末)</p>

「別紙2-9」【 脱炭素化の扱い 】 (中学校 技術・家庭 技術分野)

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要 (掲載ページ)
東 書	<p>「森林と私たちの生活」・【コラム、写真、図】木材を使うことは、二酸化炭素の排出量を減らすことにつながる (P135) 「技術の工夫 水素発電」・【コラム】地球温暖化の原因ともいわれている二酸化炭素が発生せず (P140) 「技術のとびら 発電方法の最適化」・【本文、コラム、図、イラスト】二酸化炭素 (CO₂) の排出量を抑える (P142-143) 「自動車の移り変わり」・【コラム、写真】脱炭素化に向けたさまざまな技術開発が進められている (P189) 「これからのエネルギー変換の技術」・【本文、コラム、図、写真、イラスト】脱炭素社会の実現に向けたチャレンジ (P190-192) 「洋上風力発電」「水素エネルギー」・【コラム、写真、図】二酸化炭素などの温室効果ガスを排出しない (P196) 「世界のエネルギー問題の解決」・【コラム、写真】二酸化炭素を吸収する植物の植林 (P197)</p>
教 図 (別冊含)	<p>「社会の発展と材料と加工の技術」・【本文、図、写真】森林は二酸化炭素を吸収するほか (P66-67) 「学習の扉」・【本文】大量の二酸化炭素が排出されます。その結果起こる地球温暖化への対策も必要 (P112-113) 「発電について知ろう」・【本文、コラム、写真、図、イラスト】CO₂の排出が少ない (P120-123) 「社会の発展とエネルギー変換の技術」・【本文、コラム、図、イラスト】自動車の開発では、化石燃料の消費量や温室効果ガスの排出量を減らす (P168-169) 「やってみよう」・【本文、写真】マイナス面の例 二酸化炭素を排出し、大気汚染や地球温暖化につながる (P170)</p>
開隆堂	<p>「飼育の持続に向けた取り組み」・【コラム、写真、図、イラスト】温室効果ガス (メタン) を減らす資料を開発する (P119) 「森林の育成技術」・【本文、コラム、写真、図、イラスト】木材を利用した脱炭素社会 (P124-125) 「原動機と環境問題」・【コラム、写真、図】二酸化炭素 (CO₂) の排出を抑えることができるため (P179) 「これからのエネルギー変換の技術とその活用を考えてみよう」・【コラム、写真】走行時にCO₂を排出しない (P207) 「エネルギー問題と環境変動」・【コラム、写真】二酸化炭素 (CO₂) などの温室効果ガスの排出を減らすこと (巻末)</p>

「別紙2-10」【 持続可能な社会づくりの扱い 】（中学校 技術・家庭 技術分野）

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要（学年 掲載ページ）
東 書	<p>「SDGsとTechnology」・【本文、コラム、写真、イラスト】示されているそれぞれの目標は、技術分野の学習と深く結びついている（P10-11）</p> <p>「新しい材料と加工の技術の開発」・【コラム、写真】デジタル技術を利用して加工された木材（P81）</p> <p>「循環型社会のために活用される材料と加工の技術」・【コラム、図】資源が循環する社会が形成されていきます（P82）</p> <p>「問題の発見と課題の設定」・【本文、図、イラスト】持続可能な開発目標（SDGs）の実現のために、生物育成の技術でどのような問題を解決できるか（P106-107）</p>
教 図 (別冊含)	<p>「学習内容への道案内 目次」・【本文】本書に登場するマーク（P2-3）</p> <p>「技術の力でだれもが暮らしやすい社会を創る」・【本文、写真、イラスト】作業をしやすい環境づくりは、将来の生活と社会の関わりや、社会の発展にもつながる（P6-7）</p> <p>「世代を超えて受け継がれる碁盤・将棋盤」・【コラム、写真】余った材料は、まな板やはしに加工する（P65）</p> <p>「町工場技術×デザイン思考 世界へ」・【コラム、写真】「洗浄力」と「節水」の両方を実現（P67）</p> <p>「やってみよう」・【本文、写真】次のキーワードをヒントにして話し合おう。SDGs（P68）</p> <p>「本当においしい豚肉を食卓へ」・【コラム、写真】食品ロスなどでうまれた食品を発酵させて（P107）</p> <p>「おいしい養殖水産物、産地は陸の上」【コラム、写真】きれいな海を守ることにつながりたい（P109）</p> <p>「やってみよう」・【本文、写真】次のキーワードをヒントにして話し合おう。SDGs（P110）</p> <p>「ゴミから新たな資源を生み出す技術 ～循環型社会を目指して～」・【コラム、イラスト】処理施設では一切ゴミが出ないだけでなく（P133）</p> <p>「衣服を立体的に編む技術」・【コラム、写真】捨てる部分がなく環境への影響が小さくなります（P167）</p> <p>「だれもが思い通りに移動できる未来へ」・【コラム、写真】電動車椅子の改良（P169）</p> <p>「やってみよう」・【本文、写真】次のキーワードをヒントにして話し合おう。SDGs（P170）</p> <p>「宇宙から水産業・農業を支える技術」・【コラム、写真】生活や社会における問題の解決に、日本が開発した技術（P241）</p> <p>「すべての人たちに、声をとどける」・【コラム、写真】声帯を失った人が自分の声を使って会話をしたりすることに（P243）</p> <p>「やってみよう」・【本文、写真】次のキーワードをヒントにして話し合おう。SDGs（P244）</p> <p>「夢をかなえる技術」・【本文、写真、イラスト】義足を必要としながら購入できない開発途上国の人々に提供している（P246-249）</p>
開隆堂	<p>「SDGsの目標実現のために、技術ができることはなんだろうか？」・【本文、写真】どうすればSDGsの目標を達成できるのか（P4-5）</p> <p>「生分解性プラスチック」・【コラム、写真、イラスト】分解されて二酸化炭素と水になり、環境にやさしい（P9）</p> <p>「材料と加工の技術 問題解決の評価・改善」・【本文】今回の取り組みが「SDGs」の実現に向けてどのようにかかわっていたか（P74-75）</p> <p>「生物育成の技術 問題解決の評価・改善」・【本文】今回の取り組みが「SDGs」の実現に向けてどのようにかかわっていたか（P148-149）</p> <p>「エネルギー変換の技術の見方・考え方で既存の製品や機器を読み解こう」・【本文、写真】技術の工夫がSDGsにどのようにかかわっているか（P186-187）</p> <p>「エネルギー変換の技術 問題解決の評価・改善」・【本文】今回の取り組みが「SDGs」の実現に向けてどのようにかかわっていたか（P202-203）</p> <p>「情報の技術の見方・考え方で既存の機器やシステムを読み解こう」・【本文、写真】技術の工夫がSDGsにどのようにかかわっているか（P246-247）</p> <p>「情報の技術 問題解決の評価・改善」・【本文】今回の取り組みが「SDGs」の実現に向けてどのようにかかわっていたか（P276-277）</p>

「別紙2-11」【 オリンピック・パラリンピックの扱い 】（中学校 技術・家庭 技術分野）

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要（学年 掲載ページ）
東 書	記載なし
教 図 (別冊含)	記載なし
開隆堂	「ピクトグラム」・【コラム、写真、図】日本では1964年の東京オリンピックをきっかけとし、広く使用されるようになりました (P248)

「別紙3」 【(2) 構成上の工夫】 (中学校 技術・家庭 技術分野)

項目 発行者	ア 生活や社会で利用されている技術について分かりやすく示す工夫	イ 取り上げた技術が生活や社会における問題を解決しているか分かりやすく示す工夫	ウ 題材に関する資料や模型、支援教材等を分かりやすく示す工夫(安全・衛生)	エ 学習内容に係る職業について分かりやすく示す工夫(勤労観・職業観)	オ 安心、安全で豊かな生活や、環境保全と利便性が両立した内容について分かりやすく示す工夫(持続可能な社会)	カ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	キ ユニバーサルデザインの視点	ク デジタルコンテンツの扱い
東 書	・技術の仕組みや役割、進展等を科学的に理解できるようにしている(P14など)	・技術による問題解決を具体的に示している(P20-21など)	・実習題材の工程ごとに、「安全マーク」「衛生マーク」が表記されている(P43など) ・問題解決に取り組むときに必要な基礎的な技能を図や写真などで確認できる(P40など)	・学習内容に係る職業に携わる人物を紹介している(P56など)	・環境への配慮事項について「環境マーク」が表記されている(P37など)	・一連の学習過程の中に、主体的に調べたり、友達と協働して比較・検討したりするための発問を設けるなど、深い学びの実現のための工夫がされている(P28など) ・イラストを用いて対話的に設計要素などが検討できるように工夫されている(全般)	・フォントや配色等についての配慮等が示されている(全般)	・URLや二次元コードにアクセスするとインターネットに接続し、動画などを活用できる(P4-5など)
教 図 (別冊含)	・技術の仕組みや役割、進展等を科学的に理解できるようにしている(P4-5など)	・技術による問題解決を具体的に示している(P8-9など)	・実習題材の工程ごとに、「安全マーク」や「衛生マーク」が表記されている(P35など) ・問題解決に取り組むときに必要な基礎的な技能を図や写真などで確認できる(P40など)	・学習内容に係る職業に携わる人物を紹介している(P22など)	・環境への配慮事項について「環境マーク」が表記されている(P66など)	・一連の学習過程の中に、主体的に調べたり、友達と協働して比較・検討したりするための発問を設けるなど、深い学びの実現のための工夫がされている(P42など) ・イラストを用いて対話的に設計要素などが検討できるように工夫されている(全般)	・フォントや配色等についての配慮等が示されている(全般)	・二次元コードにアクセスするとインターネットに接続し、動画などを活用できる(P21など)
開隆堂	・技術の仕組みや役割、進展等を科学的に理解できるようにしている(P8-9など)	・技術による問題解決を具体的に示している(P16-17など)	・実習題材の工程ごとに、「安全マーク」が表記されている(P18など) ・問題解決に取り組むときに必要な基礎的な技能を図や写真などで確認できる(P34-35など)	・学習内容に係る職業に携わる人物を紹介している(P104-105など)	・環境への配慮事項について「環境マーク」が表記されている(P9など)	・一連の学習過程の中に、主体的に調べたり、友達と協働して比較・検討したりするための発問を設けるなど、深い学びの実現のための工夫がされている(P56など) ・イラストを用いて対話的に設計要素などが検討できるように工夫されている(全般)	・フォントや配色等についての配慮等が示されている(全般)	・URLや二次元コードにアクセスするとインターネットに接続し、動画などを活用できる(P11など)